

予算審査特別委員会総括質問通告書

平成28年3月14日

委員氏名 笹松 京次郎

予算審査特別委員長

大野 憲義 様

一問一答 (有)

ページ 6 ~ 1

| 大項目 | 行財政運営について |
|-----|--|
| 小項目 | 質問の要旨 |
| | <p>原田市長は、平成27年度は、これまでの10年とこれからの10年をつなぐ節目の予算、厳しい財政状況の中にあつて、事業の選択と集中に努め、重点施策を中心に「恵庭の未来を切り拓く予算」として編成されました。</p> <p>平成28年度は、恵庭の可能性を引出し、さらに魅力を高める新総合計画によるまちづくりの最初の予算となる「新総合計画が走り出す予算」として予算編成されています。</p> <p>また、重点施策として、1、住み続けたいくなるまちづくり2、子育てしたいくなるまちづくり3、いきいきと働くまちづくり4、誰もが訪れたいくなるまちづくり、5、みんなで学ぶまちづくりを掲げられています。</p> <p>各会計別では、様々な要因がありますが、総額478億47万円、前年対比1.6%の予算が示されました。私は、第5期恵庭市総合計画特別委員会の委員長を務めさせて頂きました。</p> <p>更に、総合計画には、第3期恵庭市総合計画から、議員として3度立ち会うことになりました。</p> <p>第5期恵庭市総合計画基本構想、基本計画、それらを補完する各種所管部の推進計画が同時に提出されました。</p> <p>このことは、行政運営の自主自立を求めた地方分権推進法が出来て20年になりますが大きな成果と思います。</p> <p>今まさに、住民福祉の増進、地域の活力と豊かさの創出には、洞察力と決断力が求められると考えています。</p> <p>また、政治の安定と議会権能の充実についての必要性を感じさせられました。そのような視点から、価値観と認識の共有を図りたく行財政運営をはじめ、市政執行方針の政策推進についてを中心に通告に従いお伺いします。</p> |

| | 笹松 京次郎 | ページ 6～2 |
|-----------------------|--|---------|
| 大項目 | 行 財 政 運 営 に つ い て | |
| 小項目 | 質 問 の 要 旨 | |
| 財務諸表の運用の実態と活用方針について | <p>地方分権の進展に伴い、これまで以上に自由でかつ責任ある自治体運営の経営が地方公共団体に求められています。内部管理強化と外部へのわかりやすい財務情報の開示が不可欠であり又、「説明責任の履行」と「財務の効率化、適正化」の二つの大きな目的が示されています。</p> <p>平成28年度からは、統一的な基準による財務諸表を策定する方針が示されています。</p> <p>この様な背景を勘案し、財務諸表の認識と活用方針等についてお伺います。</p> <p>1-1 作成整備の目的と効果について</p> <p>1-2 説明責任の履行について</p> <p>1-3 フルコストの定義と目的を全職員が改めて認識し、市民への説明責任、職員の意識改革、事業の効率性の評価の3観点からもコスト情報を外部目的、内部目的に活用すべきと考えるが所見をお伺いします。</p> | |
| 地方公共団体における民間活用の推進について | <p>この制度をより機能させるためには、施設設置者が設置目的を明確にする必要は勿論、下記事項についても検証する必要性があると考えて下記事項をお伺いします。</p> <p>1-1 目的では明記されていませんが多様化する行政事務事業の効率化を図る事が出来るとする観点があると考えています。より市民理解を深めるうえでもその検証と効果の評価については検証する必要があると考えますがご所見をお伺いします。</p> <p>1-2 直営で実施する場合と民間委託する場合のコスト比較の基本的な考えについては、費用対効果に留意しながらも事務、業務の効率性の向上検証と合わせて嘱託職員の活用など、幅広い検討が必要と考えていますが、現状どのように運営活用されているのかご所見をお伺いします。</p> | |

| | | |
|-----------------------|---|-----------|
| | 笹松 京次郎 | ページ 6 ~ 3 |
| 大項目 | 行 財 政 運 営 に つ い て | |
| 小項目 | 質 問 の 要 旨 | |
| 地方公共団体における民間活用の推進について | 1-3 この制度のメリットを十分に発揮させるためには、今一度、施設の運営目的又、公共サービスの拡大や企業、団体の自立育成の視点からも指定管理期間について再考すべきと考えています。ご所見をお伺いします。 | |
| 大項目 | 水 道 事 業 に つ い て | |
| 恵庭市水道ビジョンについて | <p>水道事業の基本方針と具体的な施策方針を示した恵庭市水道ビジョンが平成24年に策定されています。</p> <p>又、昨年「恵庭市水道事業経営戦略」が策定されています。恵庭浄水場廃止に併せて配水管理業務を企業団に委託し一部管理の一体化が図られています。</p> <p>水道ビジョンで示されている事業の現状分析と評価では持続に係る課題の抽出で5項目が示されています。</p> <p>又、施設概要での運転管理の広域化の推進についても示されていますがご所見をお伺いします。</p> <p>1点目は、恵庭市水道事業の効率的運営について推進上の課題として現状どのように考えているのかお伺いします。</p> <p>2点目は、石狩東部水道企業団と恵庭市水道事業の連携強化については現状どのように考えているのかお伺いします。</p> | |
| 大項目 | 都 市 計 画 (土 地 利 用) に つ い て | |
| 工業系土地利用推進について | <p>工業系土地整備の考えについては、市政執行方針をはじめ、新聞報道や本定例会でも同僚議員の質問に対し、企業の道内への立地意欲は高まっている等、必要性についての認識は述べていますが改めてご所見をお伺いします。</p> <p>1点目は、平成28年度は、近い将来道央圏への進出を計画している企業に対して、今年度は動向調査を行うと述べていますが具体的調査内容と分析時期についてお伺いします。</p> | |

| | | |
|----------------|---|---------|
| | 笹松 京次郎 | ページ 6～4 |
| 大項目 | 都市計画(土地利用)について | |
| 小項目 | 質問の要旨 | |
| 工業系土地利用推進について | 2点目は、新規需要に対する工業団地の確保を戸磯地区などにおいて検討するとなっています。次期の工業・流通業務地については現状どの様な考えかお伺いします。 | |
| 南島松地区の土地利用について | <p>次に、南島松地区の土地利用についてお伺いします。市政執行方針では、花の観光拠点整備について、「道と川の駅花ロード」に併設し、観光資源の魅力向上策の主な施策として、花の観光拠点整備としての整備計画の検討に着手すると述べられました。</p> <p>1点目は、当該地区(南島松地区)の土地利用については、必要に応じて都市的土地利用を検討する地域として示されています。現状どのように内部協議がされているのかお伺いします。</p> <p>2点目は、観光産業の振興、花の田園住宅構想、夢と健康を育む拠点整備など社会環境の変化を勘案した、当該地区の今後の全体土地利用計画(地区計画)の検討を早急にすべきと考えていますがご所見をお伺いします。</p> <p>3点目は、現在、「第2期恵庭市観光振興計画」が策定中であります。その中で、「花の観光拠点」整備計画の構想があると考えています。「道と川の駅花ロード」運営課題の解決やより産業振興機能の充実強化、運営体制などについては、課題の解決に向けた検討は現状どの様に考えているのか、又、今後の整備スケジュールについてお伺いします。</p> <p>4点目は、恵庭市観光協会の役割と現状の課題、今後の方向性について現状どのように考えているのかお伺いします。</p> | |

| | | |
|-------------------|--|---------|
| | 笹松 京次郎 | ページ 6～5 |
| 大項目 | 都市計画(土地利用)について | |
| 小項目 | 質問の要旨 | |
| 「緑の語らいの広場」について | <p>5点目は、次期の都市計画マスタープラン策定に向けた年次計画は現状どのように考えているのかお伺いします。</p> <p>市政執行方針で「JR駅周辺への公共施設複合化による機能集約」と述べています。又、一部予算個別でも議論がありましたが、改めて、当該土地利用方針については、早急に検討組織を作り、方向性を示すことが求められていると考えています。今後の取り組みについてご所見をお伺いします。</p> | |
| 大項目 | 保健・健康行政について | |
| 小項目 | 質問の要旨 | |
| 地域包括ケアシステムの構築に向けて | <p>地域包括ケアシステムは、①高齢化の進展と費用負担の増加②団塊の世代など高齢者像と地域特性の多様化、など介護保険法上市の役割として構築する責務を担っています。</p> <p>1点目は、本市の介護保険計画では、地域包括ケアシステム構築に向けたプロセス(基本的なスタンス)が見えない。2025年に向けた3年ごとの計画策定を通して示す必要があると考えるがご所見をお伺いします。</p> <p>2点目は、新しい介護予防・日常生活支援総合事業移行スケジュールに向けて、介護現場(介護士・ヘルパー・訪問)の実情や課題の意見を取り入れた、よりきめ細かで市独自の事業の創出を図るべきと考えますが取り組み体制についてお伺いします。</p> <p>3点目は、本市では、認知症地域支援普及事業などに取り組まれています。しかし、介護サービスだけでなく、認知症の対策は地域の自助・互助を最大限活用する事が必要と考えていますが行政として早急に施策の対応を図るべきと考えますがご所見をお伺いします。</p> | |

| | 笹松 京次郎 | ページ 6～6 |
|----------------------|--|---------|
| 大項目 | 保 健・健 康 行 政 に つ い て | |
| 小項目 | 質 問 の 要 旨 | |
| 恵庭市健康まちづくりプランの策定について | <p>担当部局の変更など健康づくり施策への取り組みについては高い評価をいたします。また、健康づくり推進は、様々な要因を考えたならば大きな地域産業振興の創出になると考えています。そのような視点からお伺い致します。</p> <p>1点目は、平成28年2月に制定された〈恵庭市スポーツ振興計画〉。より実効性のある計画とするためには、個人の健康づくり、健康環境づくりなど健康づくりの基本方針や目標を定めた〈恵庭市健康まちづくりプラン〉の策定をすべきと考えますがご所見をお伺い致します。</p> <p>2点目は、新設される担当課での推進体制についてどのように考えているのかお伺い致します。</p> <p>3点目は、市民の方々に健康でいられる喜びや地域の一体感が感じられるイベントの必要性を感じています。</p> <p>その取り組みについての考えをお伺い致します。</p> | |
| 通年型屋外スポーツ施設整備について | <p>以前から、この事業は具体的に計画に明記されています。</p> <p>通年型屋外スポーツ施設整備については、時代の要請を勘案した多用途の複合施設の整備へと検討すべきと考えていますがご所見をお伺い致します。</p> | |

予算審査特別委員会総括質問通告書

平成 28 年 3 月 14 日

委員氏名 佐山 美恵子

予算審査特別委員長 様

| | 一問一答 (有・無) | ページ 2～1 |
|-------------------|---|---------|
| 大項目 | 市長の政治姿勢について | |
| 小項目 | 質問の要旨 | |
| 新総合計画及び予算編成方針について | 新総合計画（5本の柱）及び予算の編成方針について市長の考え方を改めてお伺い致します。 | |
| 行政改革の推進について | 行政改革の推進については、新年度から事務事業の見直し、民間活力の活用、公共施設の有効活用との3本の柱を掲げ取り組む、としておりますが、その具体的な取り組みについてお伺い致します。 | |
| 人事評価制度について | 人事評価制度の充実における、職員の意識の向上と組織マネジメントの強化についてその具体的な取り組みについてお伺い致します。 | |
| 移住定住の促進について | 移住定住の促進について新年度の事業展開の具体的な取り組みについてお伺い致します。 | |
| 男女共同参画基本計画について | 男女共同参画基本計画に基づき、「基本的な考え方」や「施策の基本的方向」及び「具体的な取り組み」についてお伺い致します。 | |

| | | |
|----------------|---|---------|
| | 氏名 佐山 美恵子 | ページ 2～2 |
| 大項目 | 福祉行政について | |
| 小項目 | 質問の要旨 | |
| 地域包括ケアシステムについて | <p>「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき「地域包括ケアシステム」の構築に向けて以下の点についてお伺い致します。</p> <p>① 地域に根ざした介護予防と日常生活支援総合事業について</p> <p>② 認知症支援策の充実について</p> <p>③ 成年後見センターの設置について</p> | |
| 生活困窮者自立支援法について | 支援状況と今後の取り組み、課題や方向性についてお伺い致します。 | |
| 障害者差別解消法について | 障害者差別解消法施行後の具体的な取り組みについてや障がい者の就労支援（農福連携等）の具体的な取り組みについてお伺い致します。 | |
| 大項目 | 教育行政について | |
| 小項目 | 質問の要旨 | |
| 子供たちの安全安心について | <p>① 通学路の点検・整備について</p> <p>② スクールソーシャルワーカーの役割について</p> <p>③ 生活困窮世帯への学習支援について</p> <p>それぞれお伺い致します。</p> | |